

いしかわ 情報ニュース

社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会
石川県聴覚障害者センター fax076-261-3021

ひとり一人のろう者の生活と権利を守る「岩」

新しい生活様式の実践

新型コロナウイルス対策



動画を視聴された方から感想を頂きました

新聞やテレビなどで新しい生活様式を聞いていたがもっと具体的に知りたかった。動画はとてもわかりやすい説明でよかった。 【達磨敏さん】



ポイントがわかりやすく、じっくりと心がけるべきことを改めて再確認することができた。

【中川英昭さん】



テレビのニュースでよく新しい生活様式という単語は見ていたが、動画を見て具体的なイメージが出来ました。 【足津清美さん】

参考になり分かりやすかったです。【加藤康士さん】

イラストがとても可愛らしく、字幕、手話説明との位置関係もわかりやすい構成です。 【山村信平さん】



手話表現で分かりやすかった。新しい生活様式の意味を把握できた。今後の生活意識・行動が高まると思います。

【嶺藤至さん】



新しい生活様式を簡潔にわかりやすくまとめられていてよかった。DVDをまだ見てない、見れない人もいたのでサークル等で視聴するのいいと思う。手話の表現方法なども勉強ができ、一石二鳥になります！ 【松井泉恵さん】

目で聴く

新しい生活様式



一度ご覧になった方も、まだ視聴されていない方も下記の QR コードを読み取って是非、ご視聴ください。



1【基本的な感染対策】



2【基本的な生活様式】



3【生活の各場面と新しい働き方】

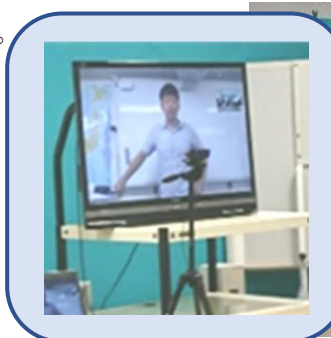
令和2年度 石川県登録手話通訳者試験のご案内

- 期 日：令和2年12月5日(土)
- 会 場：石川県社会福祉会館(金沢市本多町 3-1-10)
- 受 験 料：5,000 円
- 申 込 方 法：期日までに所定の受験申込書に必要書類と受験料を添えて、お申込ください。
詳細は試験実施要項をご参照ください。(試験実施要項・受験申込書は
<http://www.deaf-ishikawa.or.jp/>にてダウンロードしてください。)
- 申 込 期 間：令和2年8月29日(土) ～ 令和2年10月2日(金) 必着
- 問 い 合 せ：社会福祉法人石川県聴覚障害者協会 石川県登録手話通訳者試験委員会事務局
〒920-0964 石川県金沢市本多町 3-1-10 石川県社会福祉会館内
FAX：076-261-3021 TEL：076-264-8615

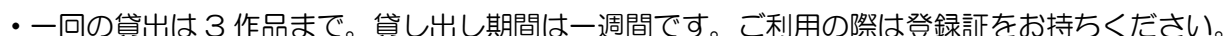
新しい様式で実施 手話通訳者 新任研修

登録1年目～3年目の手話通訳者を対象とした新任研修を7月25日(土)石川県聴覚障害者センター多目的ルームにておこないました。今年はコロナ感染予防を考慮し、東京にいる小菌江聡講師と多目的ルームにいる受講者をテレビ会議システム「Zoom」で接続し、登録年ごとの少人数クラスに受講時間を分けて、検温・消毒・換気の上、実施しました。研修では、受講者が日本語文章の音源を聞いて手話通訳をし、Webカメラ越しに講師が解説指導をおこないます。最近の社会問題やろう者の生活に関する話題を通訳し、繰り返し検証しました。

コロナ禍で手話通訳派遣の依頼が減っており、通訳活動をしばらくやっていないという受講者もいました。また通訳として活躍する
時のために研鑽を続けましょう。



令和2年9月26日、27日に実施が予定されていた第32回手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験)は、新型コロナウイルス感染症に関する状況を踏まえ、中止となりました。



きりぬきこ～な～

五輪まで「再び」あと1年

生きる勇気を与えたい

石川 3歳で聴覚を失った

「聖火リレーで、新型コロナウィルス感染拡大の不安はある。それでも、聖火ランナーをしたいたい。三歳の時、はしかにかかり聴覚を失った吉岡真人さん(仮)は、手話通訳を通して思いを語った。自身が健常者と一緒に走ること、で「聴覚障害者に生きる勇氣を与えることができるはず」と信じているからだ。

自身が所長を務める聴覚障害者の作業所「ろうあハウス」(金沢市)は、新型コロナで打撃を受けた。作業所では、企業が粗品として贈るタオルの梱包作業をしているが、注文は昨年と比べて六割ほど減った。

感染を防止するため、一時は作業所を閉鎖することも考えたが、聴覚障害者にとって作業所は、仕事をするだけでなく、普段の悩みや不安を打ち明けられるかけがえのない場所だ。利用者から「ここが閉まるとうる場所がない」という声が寄せられたため、一階だけだった作業所を二階にも設けて、人々が密集しないように工夫して作業を続けた。

タオル梱包の仕事が減ったため、マスクを手作りして販売する取り組みも始めた。

利用者からは「ろう者が聖火ランナーとして走る姿を見られたら死んでもいい。生きる勇氣をもらえる」との言葉を掛けられている。聖火リレーを行って感染者が出れば、医療従事者の負担が増すだけに、申し訳ないという気持ちもある。

それでも「五輪で選手が活躍する姿は日本中に元氣を与えてくれるはずだし、聖火ランナーもたくさんの人を勇氣づけることができる」とランナーとして走る日を待ち望んでいる。



ろうあハウス新ロゴマーク

手作りマスクを
作り始めた時、利
用者から「私たち
が作った証に何か
マークがあるとい
い！」の意見か
ら、「タツノオト



シゴ」はろう者の「ろ」の字であり耳
のかたちを総合したことからろう者のシン
ボルマークとして使われています。そこで
いろんな「タツノオトシゴ」のデザインを
書いて利用者全員で多数決の結果、このマ
ークに決定しました。

このマークはろうあハウスの建物の中に
ろう者がいるイメージで作りました。

コロナ禍ではありますが「新しい生
活様式」で危機を乗り越えたいと考
えています。

9 月より 2 階部屋改修工事着工

9 月 1 日よりろうあハウスの 2 階にプ
チショップ作業室、書庫、廊下、ホールの改
装工事を行います。11 月に完成予定です。

プチショップ作業室に畳があり、老巧化
のため、床を改築し、一階と同じようなイ
メージで改築します。

9 月 1 日～11 月 1 日頃、「プチショップ」
はお休みします。

なお委託販売先（いきいきギャラリー、金
沢駅友愛ショップ）は通常通り販売します。

ろうあハウス屋根修理

6 月末、各地で大雨
の被害が起きていた
頃、ろうあハウスの屋
根は老朽化があり、雨
により一階の床が濡れ、
2 階の第 2 部屋にも雨漏れが発生しました。



7 月 6 日から屋根のリフォームを開始予定
でしたが、雨が続いており、足場が悪く改修工
事が進められない状態が続いていました。

ようやく、雨が止んだ時
期に改修工事を進め、7 月
22 日に修理完了しました。



今はどんな雨にも負けな
い屋根ができ安心しました。

改修前	
正面	裏庭
	



改修後	
正面	裏庭
	